

情報社会と情報倫理		講義	教授 樽井 勇之	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目、経営・経済 コースの選択必修科目	科目ナンバリング	23021201	

### 1. 授業のねらい・概要

ネットワーク社会では、誰でも手軽にインターネットを利用して情報発信できるようになっている。このとき問題となるのはインターネット上における情報倫理である。インターネットを活用するには情報倫理を遵守すると共に、他人の権利や著作権問題の理解をしておかなければならない。

本授業では、ネットワーク社会と情報について基礎から学び、コンピュータの仕組みと特徴を理解する。その上で、インターネットの仕組みと情報セキュリティ対策、インターネット利用時の情報倫理、個人情報漏洩の問題、電子メールの仕組みと情報倫理、Web ページの作成と情報倫理について学修する。

### 2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に小テストを行う。

### 3. 授業計画

1. ガイダンス	9. ネットワーク上での作法
2. コンピュータの歴史	10. 知的財産権・著作権
3. ビットとは何か	11. 個人情報保護法
4. コンピュータで扱う情報	12. 情報セキュリティに対する脅威への傾向と対策
5. 量の扱い	13. 電子メールの仕組みと情報倫理
6. コンピュータの構成と特徴	14. Web ページの作成と情報倫理
7. インターネットの仕組み	15. まとめ
8. 情報セキュリティ対策	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回授業の講義内容や、小レポートとして出題された内容の復習に1時間程度必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題を出題後にヒントを与え、次回授業時に解答のポイントを説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

情報技術および情報倫理を理解し、情報社会におけるコンピュータ利用が円滑かつ適正に行えることを目的とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

小テスト（50%）、期末試験の結果（50%）によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

小島正美他：「情報社会のデジタルメディアとリテラシー ―情報倫理を学ぶ―」、ムイスリ出版

### 9. 受講上の留意事項

講義と同時に小テストを行うので、欠席しないこと。また、講義の内容を理解するためにノートをきちんととること。理解できないときは積極的に質問してください。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。